

1. 件名：福島第一原子力発電所における2号機PCV内部調査・試験的取り出し作業の準備状況に係る面談
2. 日時：令和4年8月24日（水）9時30分～10時00分
3. 場所：原子力規制庁 6階会議室
4. 出席者  
原子力規制庁  
原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室  
竹内室長、澁谷企画調査官、正岡補佐、大辻室長補佐、石井係長、塩唐松係員  
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー  
東京本社 担当2名（テレビ会議システムによる出席）  
福島第一原子力発電所 担当1名（テレビ会議システムによる出席）

#### 5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、2号機PCV内部調査・試験的取り出し作業の準備状況について資料に基づき、主に以下の説明があった。
  - 試験的取り出し作業で使用する予定のロボットアーム操作精度向上を実施中であること。
  - 内部調査・試験的取り出し実施時に装置を接続する予定のX-6ペネハッチは90°以上開く必要があるが、把手が干渉しないような対策を検討中であること。
  - 現在上記2点の対策を検討中であり、これら対策に必要な期間を踏まえ、1年から1年半程度試験的取り出し作業に着手する時期が遅れる見通しであること。
  - なお、次ステップの小規模取り出しには本工程の遅れは影響がないこと。
- 原子力規制庁は、上記説明内容及び他作業への影響はないことを確認した。

#### 6. その他

資料：

- 2号機 PCV 内部調査・試験的取り出し作業の準備状況